

# 朝倉市の政策・課題を

## 正面から問う

質問者7人、傍聴者35人

### 村上 百合子 議員

- 質問項目
- 1 健康朝倉市を目指す対策について
  - 2 自然エネルギー対策について



**Q** 脳脊髄液減少症は、交通事故やスポーツ、転倒などの衝撃によって脳脊髄液が漏れ出すなど減少するこ

とで、頭痛やめまい、吐き気などの症状に慢性的に苦しめられる病気である。特に教育現場においては、体育授業中の事故、部活動の事故やいじめによる暴力を受けた等の原因で発症している例もある。病名を知らないため誤解を受けている子どもたちがいる現状を理

解して、治療等の改善を図っていくため、専門医による説明会や冊子の配布を考えてほしい。

**A** 今後さらに保護者や教職員の共通理解を得るよう、周知、指導を行ってきたい。

**Q** 子どものインフルエンザ予防接種自己負担額の軽減を

### 脳脊髄液減少症の周知・説明会等の対策を

**Q** 本市では、インフルエンザ予防接種全額助成制度が小学6年生まで行われていた。現在では、中学生ま

での自己負担1回1000円の制度に変わっている。小学6年生までの児童で2回接種されている人数が以前よりも200名以上減少している。その結果、インフルエンザ感染で学級閉鎖になり勉強できない状況が起きている。小学生までは2回の予防接種を受けることでその効果が現れると言われるが、2回受けられていないことが残念である。背景に、経済的な問題があると考え

**A** 経済的に大変と理解できているが、現在のところは今の形でやらせていただいて、他の部分で考えたいと思う。



子どもたちに明るい未来を

### 若者が減り地域が維持できない心配がある

### いかに人口減少に政策を打つべきかと考える

- 質問項目
- 1 20年後の朝倉市について
  - 2 民生活動について



### 中島 秀樹 議員

**Q** 朝倉市の人口が平成37年には約4万5千人になると書かれた資料を見たことがある。現在の人口を維持する必要があるのではないかと考えている。市レベルの施策は積極果敢に取り組んでいく。

**A** 行政としてきちんと取り組んでいく政策課題と考える。市レベルの施策は積極果敢に取り組んでいく。

**Q** 若者が低質な市営住宅を準備したらどうか。

**A** 非常にいい提案である。各コミュニティが特色ある取り組みをする必要がある。

**Q** 朝倉市の基幹産業は農業である。元気な農業は朝倉市を活性化させる。市役所に特産品課を新たに設け、新商売の開発をしたらどうか。

**A** 今ある農業振興課と商工観光課が協同して取り組みたい。

**Q** 付加価値をつけて差別化を図り、市の魅力を高める必要があるのではないかと。朝倉市に住めば、週末は都会に遊びに行けるし、帰宅後は安らげる。この魅力を若者にアピールしたい。

**Q** 朝倉市は企業誘致と共場は今後も確保できるか。

**A** 施策としての可能性はあるが、実現は難しい。

**Q** 朝倉市は企業誘致と共場は今後も確保できるか。

**A** 企業誘致に力を入れているが、具体化はしていない。

### 大庭 きみ子 議員

- 質問項目
- 1 朝農跡地活用計画について
  - 2 環境政策について



### 朝農跡地活用計画のスケジュールについて

**A** 早急にお示ししたいとは考えている

**Q** 朝倉市は、平成23年度より廃食油の回収に取り組み始めているが、その現状と推進体制について尋ねる。

**A** 平成23年度回収量は142.6t。今後市報への掲載回数を増やしたり、ホームページ

**Q** 平成27年までが合併特例債の活用できる期限だが、それまでのスケジュールについて、どのようにお考えなのか。

**A** 財源や全体的な姿を含めて、皆さんに早急にお示ししないとイケないとは考えている。

**Q** 廃食油(天ぷら油)をリサイクルしてバイオディーゼルの燃料化の推進について

**A** 平成23年度回収量は142.6t。今後市報への掲載回数を増やしたり、ホームページ



朝農跡地の早期活用を!!

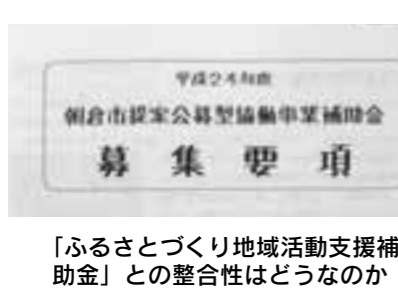
**Q** 今年度の市長施政方針重点施策で、協働のまちづくり基本指針の策定、NPQ、ボランティア等からの協働提案公募事業に取り組み、市民と行政の新しい関係を構築することが提案された。朝倉市提案公募型協働事業補助金については



**平田 倅子 議員**

- 質問項目
- 1 朝倉市協働のまちづくり基本指針について
  - 2 ゴミ減量化・4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）は定着しつつあるか。
  - 3 子ども未来課の設置目的について

**Q** ボランティア等からの協働提案公募事業に取り組み、市民と行政の新しい関係を構築することが提案された。朝倉市提案公募型協働事業補助金については



**Q** マニフェストの達成度は

**Q** 協働のまちづくりの目的、基本指針の必要性は

**Q** 協働に対する朝倉市民の意識をどう捉えているか。

**A** 今年度の市長施政方針重点施策で、協働のまちづくり基本指針の策定、NPQ、ボランティア等からの協働提案公募事業に取り組み、市民と行政の新しい関係を構築することが提案された。朝倉市提案公募型協働事業補助金については

**A** 多様化する地域社会のニーズには、行政による画一的なサービスでは限界があり、従来の行政主導型から、市民や行政、それぞれが持つ専門的な知識や技術などの特性を生かして市民がお互いに、あるいは市民と行政がつながり協力しながら、地域の問題解決に取り組んでいく必要があると考える。

**A** 十分浸透しきっていない。今後自分たちで行う活動を通じて協働のまちづくりに対する認識が深まればと考える。

**A** 協働に対する朝倉市民の意識をどう捉えているか。

**A** この件は行革から浮上したが、消防力や救急能力を低下させないという観点からの議論も必要。なるべく早い時点で方針を示していく。

**A** 協働のまちづくりの目的、基本指針の必要性は

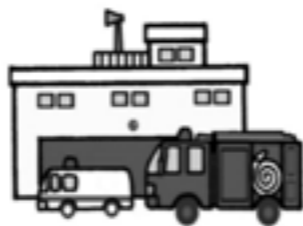
**A** 協働に対する朝倉市民の意識をどう捉えているか。

**A** 協働のまちづくりの目的、基本指針の必要性は

**A** 協働に対する朝倉市民の意識をどう捉えているか。

**A** 協働に対する朝倉市民の意識をどう捉えているか。

**行政主導型から、新しい社会システムの構築へ**



消防は安心安全な街づくりの必要な資源

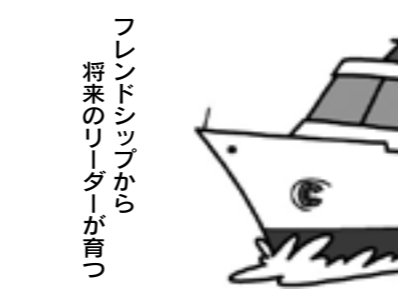
**Q** 昭和46年に県政100周年を記念して始まった青年の船に参加した若者が、昭和49年8月、第1回県少年の船を始めたのをきっかけに県下に波及した少年の船。甘木朝倉では昭和58年8月から実施して今年で30周年になる。存続できたのも、



**草場 重正 議員**

- 質問項目
- 1 教育行政について
  - 2 環境行政について

**Q** 協働のまちづくりの目的、基本指針の必要性は



フレンドシップから将来のリーダーが育つ

**Q** スクールゾーン規制なく、何のため

**Q** 協働のまちづくりの目的、基本指針の必要性は

**Q** 協働のまちづくりの目的、基本指針の必要性は

**A** 30年経過し、児童生徒の減少という社会現象もある。第1回が317名、去年が80名。初回から随分減少した。それは指摘されるようにPR不足もあると考えられるが、リーダーの確保に苦勞している。

**A** 30年経過し、児童生徒の減少という社会現象もある。第1回が317名、去年が80名。初回から随分減少した。それは指摘されるようにPR不足もあると考えられるが、リーダーの確保に苦勞している。

**A** 30年経過し、児童生徒の減少という社会現象もある。第1回が317名、去年が80名。初回から随分減少した。それは指摘されるようにPR不足もあると考えられるが、リーダーの確保に苦勞している。

**A** 30年経過し、児童生徒の減少という社会現象もある。第1回が317名、去年が80名。初回から随分減少した。それは指摘されるようにPR不足もあると考えられるが、リーダーの確保に苦勞している。

**A** 30年経過し、児童生徒の減少という社会現象もある。第1回が317名、去年が80名。初回から随分減少した。それは指摘されるようにPR不足もあると考えられるが、リーダーの確保に苦勞している。

**A** 30年経過し、児童生徒の減少という社会現象もある。第1回が317名、去年が80名。初回から随分減少した。それは指摘されるようにPR不足もあると考えられるが、リーダーの確保に苦勞している。

**A** 30年経過し、児童生徒の減少という社会現象もある。第1回が317名、去年が80名。初回から随分減少した。それは指摘されるようにPR不足もあると考えられるが、リーダーの確保に苦勞している。

**A** 30年経過し、児童生徒の減少という社会現象もある。第1回が317名、去年が80名。初回から随分減少した。それは指摘されるようにPR不足もあると考えられるが、リーダーの確保に苦勞している。

**A** 30年経過し、児童生徒の減少という社会現象もある。第1回が317名、去年が80名。初回から随分減少した。それは指摘されるようにPR不足もあると考えられるが、リーダーの確保に苦勞している。

**A** 30年経過し、児童生徒の減少という社会現象もある。第1回が317名、去年が80名。初回から随分減少した。それは指摘されるようにPR不足もあると考えられるが、リーダーの確保に苦勞している。

**理念だけは引継いでいく**

**地下水を資源と考える**

**Q** 地下水を資源と考える

**Q** 地下水を資源と考える

**Q** 地下水を資源と考える



**柴山 恭子 議員**

- 質問項目
- 1 朝倉市総合計画について
  - 2 特産物について
  - 3 甘木公園について
  - 4 通学路点検について

**Q** 甘木公園を、今後どう見直し、生かし、どんな公園とするか。



毎日、地域で子供の安全を見守る300人